

加茂川河口干潟 生物調査プロジェクト 2014

ひがたつうしん 干潟通信

2014 晩秋版

特定非営利活動法人 西条自然学校

2014年4月からスタートした、愛媛県最大の加茂川河口干潟をくわしく調査する「加茂川河口干潟 生物調査プロジェクト」。約半年間の活動で、のべ100名以上の「干潟のボランティア調査員」の方々に調査に参加していただき、さまざまな発見がありました。

「干潟の巻貝てぬぐい」販売開始 <http://saijo-shizen.org>



加茂川の干潟に生息する、分類の難しいウミナガ類5種をモチーフにデザインしたオリジナル手ぬぐい。これであなたも巻貝マスター?!
売り上げの一部は、干潟保全のための今後の調査活動に活用させていただきます。

マテガイ、アサリ、ユウシオカイ など

ソトオリカイ

腹足類 (巻貝のなかま)

ハナナリ (準絶滅危惧)

セホリウミナガ など

貝分けがむずかしい

3-5cmほどの巻貝たち

チゴガニ、クワケイロガニ、ヒメアシハラガニ、ハサミヤコエビ、ユビナガホソドカ

貧毛類

「イロミズ」という生き物が上流の石の下にたくさんいました。

端脚類

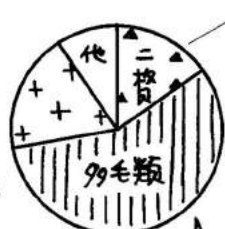
ヨコエビのなかま石の裏をめぐると、体長数mmのエビのような甲殻類が...

得られた結果、データ、標本は

西条自然学校が保全、研究、普及事業に活用していきます。

名前通り
しそのような生き物の
ゴカイのような
節や足はない

それぞれの地点で
泥・砂を10~50L
採集し、1mmの
目合でふるいました。



龍神社

ウミサゴムシ
ヤマトオサガニ
ユアサギホシイソムシ など

じゅんせうい
十脚類 エビ、カニ、ナガリなど
干潟でいちばん目立つグループ
ハサミを含め、10本の脚をもつ。

チゴガニ
少し飛、ほいとこにた...
いるちはチゴガニ。
白いハサミを上下にふるって、ガラスを
おびります。
もと飛、ほいとこには
ヤマトオサガニ、オサガニ



加茂川河口

チゴガニ
ヤマトオサガニ
トリクミアサリ
モドキ
など

ガラス
おびります。

99%の方に
ご協力いただき
ました



本当にありがた
ございました!

円グラフ:
定量調査の結果得られたおもな分類群。
10%以上出現した分類群のみ掲載。
それぞれの地点、採集した時期は異なる。

たもようい
多毛類 釣りエサのゴカイなどに
代表されるグループ

「節のあるからだ」
ゴカイ...
ドラゴンの「たこさんのものような足
のような顔」

ウミサゴムシ 砂を固めて橋管を
作り、その中にたこ...

えんぴつのはねみたいなカタチ
中には...

スライゴカイ イシゴカイ
2種の
違いは
どこだ?!

2014年の調査で確認できた生物は160種以上となり、加茂川の干潟の豊かさを示した結果となりました。一方で「昔の干潟はもっと生き物がたくさんいた」「今はどんどん環境が悪くなっている」という声も聞かれます。自然環境の現状を正確にとらえ、記録に残すことで、今後の保全活動に役立てていきたいと考えています。